

荘内だより

荘内病院
臨床研修
通信 Vol. 5
2018. 8 発刊

協力病院紹介

一般社団法人 鶴岡地区医師会
鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院
院長 武田 憲夫 先生



荘内病院における臨床研修制度の中の必須科目である、「地域保健・医療」研修をお手伝いさせて頂いています。当院は、昭和 52 年（1977 年）に開設された国立療養所湯田川病院が、平成 13 年（2001 年）3 月鶴岡市に委譲され、一般社団法人鶴岡地区医師会が運営を委託されて今日に到っています。病床数は 120 床（回復期病床 81 床、療養病床 39 床）。平成 30 年 4 月現在の職員数は 185 名。名前の由来にもなっている近隣の「湯田川温泉」から引き湯しており、患者さんに庄内藩の名湯、湯田川温泉の無色透明の柔らかい温泉に浸って頂き、心身を休め機能回復の一助にしています。

当院における「地域保健・医療」研修の内容についてご説明します。研修期間は 4 週間で、研修医が 4 人以上の場合は、2 組に分けています。研修内容は、まず当院における病棟研修として、急性期病院などから転院し、リハビリテーションを行いながら機能回復を目指している患者さんを受け持ち、回復期医療の実際、機能回復を支える仕組み、回復期リハビリテーションの実際、患者さんの精神的サポート、病院職員の心がけ、自宅訪問、多職種連携など回復期医療、リハビリテーション医療の特色、実情を体験して頂きます。また、院外研修として、地域医療を担っている「庄内保健所」、「介護老人保健施設 みずばしょう」、「荘内地区健康管理センター」での研修を行います。更に、診療所を見学し、診療所医療や診療所の先生方の心意気を感じ、更には在宅医療、訪問診療を見学します。この 4 週間は、かなりタイトなスケジュールになっています。

短期間ですが、これからの日本の医療を担う研修医の皆様が、基幹病院における研修では触れにくい、プライマリー・ケアや地域医療の位置付けと仕組み、機能を体験し、将来の医療の実践、連携に役立てて頂きたいと思っています。



湯田川温泉リハビリテーション病院周辺の風景

先輩の声

山形大学医学部附属病院 整形外科

鈴木 優太 先生（研修期間：平成28年4月～平成30年3月）

庄内地区の先生・医療スタッフの皆様方、並びに庄内病院をご卒業されました先生方、お久しぶりでございます。平成30年3月に庄内病院を卒業した、鈴木優太です。

私は現在、山形大学医学部整形外科学講座に所属し、主にリウマチ関連疾患の診療に携わっております。超高齢化社会の到来に伴い、関節リウマチ診療を取り巻く課題も変化してきました。具体的には、高齢発症の関節リウマチ患者の増加、加齢性疾患の併発、高齢患者への生物学的製剤使用の如何、等の課題が挙げられます。特に高齢化の著しい東北地区では、これらはリウマチ診療において日々直面する課題であります。そのような現状の中で、私は山形県のリウマチ診療に関わる日々を送っております。

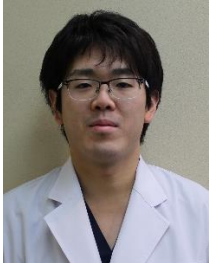
庄内病院での経験が診療に役立つ場面が驚くほど多く、庄内での研修は大変有意義なものとなりました。ご指導頂いた先生方、体調を考慮し、研修しやすい環境を作って下さった臨床研修委員会の先生方、臨床研修秘書様には大変感謝しております。

以上、簡単ではありますが近況報告とさせていただきます。



下列の左から2番目が鈴木優太医師

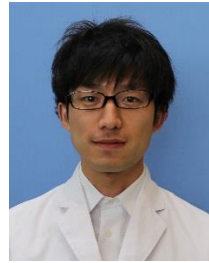
研修医を紹介します！



佐藤 克成 先生

（基幹型1年次）

- ①山形大学 ②鶴岡市（上郷）
- ③卓球、ブロガー
- ④優しく面倒見の良い先生方に囲まれ、毎日楽しく勉強させて頂いています。卓球をする場所さえ確保できれば人生のハイライトを迎えられそうです。



福元 拓郎 先生

（基幹型1年次）

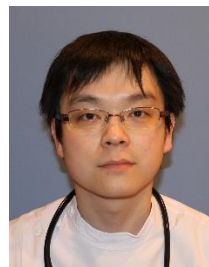
- ①大分大学 ②宮崎県北諸県郡三股町
- ③オーケストラを生で聴くことが好きなので、タクト鶴岡にプロオケがたくさん来てほしいです。
- ④早く知識や技術を身につけて即戦力になれたらいいと思っています。



有路 まい 先生

（協力型2年次：平成30年7月～9月）

- ①秋田大学 ②山形県新庄市
- ③サッカー、マラソン、旅行
- ④庄内の夏の暑さに負けずに頑張ります。美味しい食べ物・お酒を摂りすぎて太らないよう気をつけたいです。よろしくお願いたします！



神田 悟 先生

（協力型2年次：平成30年5月～9月）

- ①山形大学 ②岩手県盛岡市
- ③ラーメン店めぐり
- ④仕事も遊びも充実した研修となるよう頑張ります。



永嶋 瞬 先生

（協力型2年次：平成30年7月～12月）

- ①山形大学 ②山形県酒田市
- ③ボードゲーム、テニス、ダイビング
- ④基本的に麻酔科でのみの研修ではありませんが、積極的にさまざまな場に参加していきたいと思っていますので、半年間よろしくお願いたします。

【研修医紹介】

氏名（基幹型 or 協力型・年次）

- ①出身大学
- ②出身地
- ③趣味・特技
- ④これからの意気込みやメッセージ

先輩の皆様のお便りをお待ちしています。また、連絡先が変更になった場合もご連絡をお願いします。

連絡先：鶴岡市立庄内病院 臨床研修委員会 臨床研修秘書 伊藤 江里子 電話0235-26-5111

Email：kenshu-secretary@shonai-hos.jp